



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月8日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社東葛ホールディングス
 コード番号 2754 URL <http://www.tkhd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 俊之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 高橋 輝 TEL 047-346-1190
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	7,263	△6.7	350	△9.9	371	△8.6	234	△8.1
2019年3月期	7,787	0.2	388	△14.3	406	△12.4	255	△16.2

(注) 包括利益 2020年3月期 234百万円 (△8.1%) 2019年3月期 255百万円 (△16.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	48.47	46.84	5.5	5.8	4.8
2019年3月期	52.76	51.13	6.3	6.3	5.0

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 -百万円 2019年3月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	6,354	4,411	68.8	903.90
2019年3月期	6,511	4,219	64.3	865.42

(参考) 自己資本 2020年3月期 4,373百万円 2019年3月期 4,187百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	158	△427	△305	1,400
2019年3月期	611	△33	△268	1,975

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	-	0.00	-	10.00	10.00	48	19.0	1.2
2020年3月期	-	0.00	-	10.00	10.00	48	20.6	1.1
2021年3月期(予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 2021年3月期配当金は未定とさせていただきます。業績予想の開示が可能となった段階で公表いたします。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、現時点では適正かつ合理的な算出が困難なため、状況が落ち着き、事業活動への影響確認が進み、業績予想の算出が可能となった段階で速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	4,840,000株	2019年3月期	4,840,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	1,701株	2019年3月期	1,701株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	4,838,299株	2019年3月期	4,838,299株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2019年4月1日～2020年3月31日)におけるわが国の経済環境は、雇用環境等は改善の動きを続けているものの、昨年10月に消費税率が引き上げられたことに伴う影響に加え、年明け以降、世界的な流行となった新型コロナウイルスの感染拡大の勢いが止まらない等により急激に需要が落ち込む状況で推移しました。

このような環境のなか、当社グループにおいて中核事業である自動車販売関連事業が属する自動車販売業界では、登録車(普通自動車)、届出車(軽自動車)ともに、期首よりモデルチェンジ等の効果が持続している車種を中心に販売は堅調に推移していましたが、昨年10月に実施された消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けたこと等から、当連結会計年度の国内新車販売台数は5,038,727台(登録車(普通自動車)・届出車(軽自動車)の合計。前期比4.2%減)となりました。

当社グループにおける当連結会計年度のセグメント毎の状況につきましては以下のとおりであります。

自動車販売につきましては、新車販売は消費税率の引き上げに伴う影響のほか、量販車種において新型車の不具合による納期の遅延並びに発売延期等の要因もあり販売台数は2,133台(前期比9.0%減)となりました。中古車販売も下取車や外部仕入により販売車両の確保に努めましたが、消費税率の引き上げに伴う影響もあり販売台数は1,580台(前期比10.0%減。内訳：小売台数731台(前期比4.8%減)、卸売台数849台(前期比14.0%減)となりました。定期点検、車検等の整備を割安でパックにした商品の取扱等により整備車両の確保に注力したサービス売上は堅調に推移したものの、車両販売台数の減少により登録受取手数料等の手数料収入が減少したこと等から売上高は7,157百万円(前期比6.8%減)となりました。

その他につきましては、生命保険・損害保険代理店業関連事業において、保険契約件数は減少したものの、商品構成の変化等により1件当たりの保険取扱手数料は増加したこと等から売上高は105百万円(前期比0.7%増)となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は7,263百万円(前期比6.7%減)となりました。

損益につきましては、営業利益は350百万円(前期比9.9%減)、経常利益は371百万円(前期比8.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は234百万円(前期比8.1%減)となりました。これは、主に中核事業である自動車販売関連事業の売上高が減少したことによるものです。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は6,354百万円となり、前連結会計年度末に比べて156百万円減少しております。これは主に商品及び製品51百万円、その他の流動資産34百万円、土地310百万円、建設仮勘定109百万円がそれぞれ増加、現金及び預金574百万円、受取手形及び売掛金62百万円、建物及び構築物20百万円、長期貸付金10百万円がそれぞれ減少したことによるものです。

(負債)

当連結会計年度末の負債は1,943百万円となり、前連結会計年度末に比べて347百万円減少しております。これは主にその他の固定負債33百万円が増加、仕入の減少により買掛金45百万円、借入金の返済により短期借入金227百万円並びに長期借入金29百万円、その他の流動負債65百万円、長期前受収益10百万円がそれぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は4,411百万円となり、前連結会計年度末に比べて191百万円増加しております。これは主に配当金の支払い及び親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金186百万円が増加したことによるものです。また、自己資本比率は68.8%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて574百万円減少し、当連結会計年度末には1,400百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果獲得した資金は158百万円(前期は611百万円の獲得)となりました。これは税金等調整前当期純利益371百万円から主に減価償却費117百万円、売上債権の減少額64百万円、たな卸資産の増加額136百万円、仕入債務の減少額45百万円、その他の資産の増加額31百万円、その他の負債の減少額45百万円及び法人税等の支払額138百万円等を調整したものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は427百万円(前期は33百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出438百万円、貸付金の回収による収入10百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は305百万円(前期は268百万円の使用)となりました。これは借入金の返済による支出257百万円、配当金の支払額48百万円によるものです。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	53.6	59.0	61.5	64.3	68.8
時価ベースの自己資本比率(%)	22.6	28.7	39.0	34.0	25.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	3.5	1.6	3.6	1.7	5.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	37.5	90.7	46.0	92.2	31.4

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式総数(自己株式を除く)により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

※有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

※利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大により、現時点では業績に与える未確定要素が多いことから、適正かつ合理的な連結業績予想の算出が困難な状況にあります。

今後、状況が落ち着き、当社グループ各社における新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業活動への影響度合いの確認が進み、連結業績予想の算出が可能となりました段階で、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務内容は現在日本国内に限定されており、また、海外への事業展開や資金調達を行う予定も当面はないことから、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,975,522	1,400,637
受取手形及び売掛金	1,033,277	970,831
商品及び製品	403,327	454,756
その他	85,037	119,496
流動資産合計	3,497,165	2,945,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,240,925	1,253,907
減価償却累計額	△772,212	△805,631
建物及び構築物(純額)	468,713	448,276
機械装置及び運搬具	473,304	477,843
減価償却累計額	△275,314	△272,109
機械装置及び運搬具(純額)	197,990	205,733
土地	2,109,461	2,420,008
建設仮勘定	10,800	119,843
その他	63,149	64,613
減価償却累計額	△58,231	△60,147
その他(純額)	4,918	4,465
有形固定資産合計	2,791,883	3,198,327
無形固定資産	528	116
投資その他の資産		
長期貸付金	41,657	31,595
差入保証金	117,076	117,084
繰延税金資産	54,717	55,769
その他	9,630	6,352
貸倒引当金	△1,600	—
投資その他の資産合計	221,481	210,802
固定資産合計	3,013,893	3,409,246
資産合計	6,511,059	6,354,967
負債の部		
流動負債		
買掛金	473,995	428,292
短期借入金	1,014,354	786,400
1年内返済予定の長期借入金	29,145	—
未払法人税等	59,756	59,240
賞与引当金	50,224	48,930
その他	439,832	374,089
流動負債合計	2,067,307	1,696,954
固定負債		
長期未払金	53,508	53,508
長期前受収益	89,580	79,119
その他	80,856	113,976
固定負債合計	223,945	246,604
負債合計	2,291,253	1,943,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	211,085	211,085
資本剰余金	200,496	200,496
利益剰余金	3,776,291	3,962,406
自己株式	△673	△673
株主資本合計	4,187,199	4,373,315
新株予約権	32,606	38,093
純資産合計	4,219,806	4,411,408
負債純資産合計	6,511,059	6,354,967

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	7,787,209	7,263,817
売上原価	6,071,521	5,588,039
売上総利益	1,715,687	1,675,777
販売費及び一般管理費	1,326,712	1,325,442
営業利益	388,975	350,334
営業外収益		
受取利息	1,052	879
受取手数料	17,303	13,868
受取保険金	—	4,418
その他	6,040	7,283
営業外収益合計	24,397	26,449
営業外費用		
支払利息	6,584	5,113
その他	100	0
営業外費用合計	6,684	5,113
経常利益	406,687	371,670
特別損失		
固定資産処分損	2,651	52
貸倒引当金繰入額	1,600	—
特別損失合計	4,251	52
税金等調整前当期純利益	402,436	371,618
法人税、住民税及び事業税	145,655	138,172
法人税等調整額	1,485	△1,052
法人税等合計	147,141	137,119
当期純利益	255,294	234,498
親会社株主に帰属する当期純利益	255,294	234,498

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	255,294	234,498
包括利益	255,294	234,498
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	255,294	234,498
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	211,085	200,496	3,569,379	△673	3,980,287	27,420	4,007,707
当期変動額							
剰余金の配当			△48,382		△48,382		△48,382
親会社株主に帰属する当期純利益			255,294		255,294		255,294
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						5,186	5,186
当期変動額合計	—	—	206,911	—	206,911	5,186	212,098
当期末残高	211,085	200,496	3,776,291	△673	4,187,199	32,606	4,219,806

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	211,085	200,496	3,776,291	△673	4,187,199	32,606	4,219,806
当期変動額							
剰余金の配当			△48,382		△48,382		△48,382
親会社株主に帰属する当期純利益			234,498		234,498		234,498
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						5,487	5,487
当期変動額合計	—	—	186,115	—	186,115	5,487	191,602
当期末残高	211,085	200,496	3,962,406	△673	4,373,315	38,093	4,411,408

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	402,436	371,618
減価償却費	127,080	117,655
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,600	△1,600
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,090	△1,293
株式報酬費用	5,186	5,487
受取利息及び受取配当金	△1,052	△879
支払利息	6,584	5,113
固定資産処分損益(△は益)	2,651	52
売上債権の増減額(△は増加)	368,624	64,545
たな卸資産の増減額(△は増加)	△80,521	△136,382
仕入債務の増減額(△は減少)	△52,121	△45,702
その他の資産の増減額(△は増加)	19,215	△31,077
その他の負債の増減額(△は減少)	△17,654	△45,673
小計	784,119	301,863
利息及び配当金の受取額	37	37
利息の支払額	△6,631	△5,049
法人税等の支払額	△166,015	△138,550
営業活動によるキャッシュ・フロー	611,509	158,300
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,431	△438,424
貸付金の回収による収入	10,728	10,728
差入保証金の差入による支出	△640	△845
差入保証金の回収による収入	880	837
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,463	△427,704
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△169,649	△227,953
長期借入金の返済による支出	△50,004	△29,145
配当金の支払額	△48,382	△48,382
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268,036	△305,481
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	310,009	△574,885
現金及び現金同等物の期首残高	1,665,513	1,975,522
現金及び現金同等物の期末残高	1,975,522	1,400,637

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

純粋持株会社である当社の報告セグメントは、重要性が高いもので、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、自動車販売関連事業を営む連結子会社1社、生命保険・損害保険代理店業関連事業を営む連結子会社1社、钣金塗装事業を営む連結子会社1社を統括する純粋持株会社であります。

当社グループの主な事業である自動車販売関連事業でグループ全体の売上高の合計、営業利益の金額の合計及び資産の金額がいずれも90%を超えていることから、これまで自動車販売関連事業のうち「新車販売事業」、「中古車販売事業」を報告セグメントとしておりましたが、当連結会計年度より、よりの確な経営判断を行うために報告セグメントを見直し、「自動車販売」全体として見ることにしたことから、セグメント区分を変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、セグメントの区分を変更した後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益または損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	自動車販売		
売上高			
外部顧客への売上高	7,681,976	105,233	7,787,209
セグメント間の内部売上高または振替高	93	178,898	178,991
計	7,682,069	284,131	7,966,201
セグメント利益	534,971	32,565	567,536
セグメント資産	5,862,884	232,384	6,095,269
その他の項目			
減価償却費	122,662	3,131	125,794
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	20,213	12,596	32,810

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	自動車販売		
売上高			
外部顧客への売上高	7,157,844	105,972	7,263,817
セグメント間の内部売上高または振替高	226	176,204	176,430
計	7,158,070	282,177	7,440,247
セグメント利益	512,123	34,825	546,949
セグメント資産	5,654,211	250,485	5,904,697
その他の項目			
減価償却費	113,984	2,740	116,725
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	235,227	969	236,197

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生命保険・損害保険代理店業関連事業及び钣金塗装事業を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	7,682,069	7,158,070
「その他」の区分の売上高	284,131	282,177
セグメント間取引消去	△178,991	△176,430
連結財務諸表の売上高	7,787,209	7,263,817

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	534,971	512,123
「その他」の区分の利益	32,565	34,825
セグメント間取引消去	3,781	—
全社費用(注)	△182,343	△196,614
連結財務諸表の営業利益	388,975	350,334

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	5,862,884	5,654,211
「その他」の区分の資産	232,384	250,485
セグメント間取引消去	△117,180	△116,760
管理部門に対する債権の相殺消去	△1,080	—
全社資産(注)	534,050	567,031
連結財務諸表の資産合計	6,511,059	6,354,967

(注) 全社資産は、報告セグメントに帰属しない管理部門の現金及び預金等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	122,662	113,984	3,131	2,740	1,285	930	127,080	117,655
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	20,213	235,227	12,596	969	466	213,387	33,277	449,584

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	865.42円	903.90円
1株当たり当期純利益金額	52.76円	48.47円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	51.13円	46.84円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	255,294	234,498
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	255,294	234,498
期中平均株式数(株)	4,838,299	4,838,299
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	154,103	168,031
(うち新株予約権(株))	(154,103)	(168,031)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。